平成24年度 温熱生理研究会 プログラム

開催日程:平成24年9月4日(火) ~ 5日(水)

場所:生理学研究所(明大寺地区)職員会館2階 大会議室

平成24年9月4日(火)13:00-17:55

13:00-13:05 世話人挨拶

一般演題I

1-1

13:05-13:25 暑熱負荷時の脳血流量分配

○芝﨑 学¹、佐藤耕平²、岡崎和伸³、宮本忠吉⁴、小河繁彦⁵
¹奈良女子大学、²日本女子体育大学基礎体力研究所、³大阪市立大学、⁴森ノ宮医療大学、⁵東洋大学

1-2

13:25-13:45 Effect of daily exercise on thermal preference and heat-escape/cold-seeking behavior in mice: exercise training modulates feeling of "hot"?

OC. H. Lin¹, K. Tokizawa², M. Nakamura², Y. Uchida², K. Nagashima^{1,2,3}

¹Sport Science for the Promotion of Active Life; ²Laboratory of Integrative Physiology (Body Temperature and Fluid Laboratory), Faculty of Human Sciences; ³Institute of Applied Brain Sciences, Waseda University

1-3

13:45-14:05 女性ホルモンのエストロゲンが雌ラットの生理機能に与える影響

○丸井朱里、松田真由美、永島 計

早稲田大学人間科学学術院 体温•体液研究室

1-4

14:05-14:25 血小板由来サイトカインCD40LによるCOX-2誘導と発熱

○松村 潔

大阪工業大学・工学部・生命工学科

【14:25-14:40 休憩】

温熱生理学レクチャーI

1-5

14:40-15:10 温度感受性チャネル

○富永真琴

岡崎統合バイオサイエンスセンター 細胞生理研究部門

一般演題II

1-6

15:10-15:30 脊椎動物のTRPA1およびTRPV1の機能進化により生じた温度/化学 感覚の種間多様性

> ○齋藤 茂¹、中塚一将²、福田直美¹、太田利男²、富永真琴¹,3 ¹岡崎統合バイオ(生理研)・生命環境、²鳥取大学・農、³総研大・ 生理

1-7

15:30-15:50 環境温度によるTRPM8の温度閾値はPIP2の結合を介して変化する

○藤田郁尚¹、高石雅之¹、内田邦敏²、曽我部隆彰²、富永真琴²
¹株式会社マンダム、²自然科学研究機構

1-8

15:50-16:10 慢性的なTRPチャネル刺激によるヒト褐色脂肪組織の増量

〇米代武司 1 、会田さゆり 2 、松下真美 2 、亀谷利光 3 、河合裕子 3 、岩永敏彦 1 、斉藤昌之 2

1北海道大学、2天使大学、3LSI札幌クリニック

【16:10-16:25 休憩】

招待講演

1-9

16:25-17:10 電位依存性プロトンチャネルのゲーティングを制御する分子機構

藤原祐一郎^{1,2}、黒川竜紀¹、竹下浩平^{1,3}、中川敦史^{2,3}、○岡村康司^{1,2}

¹大阪大学大学院医学系研究科統合生理学、²大阪大学大学院生命機能研究科、³大阪大学蛋白質研究所

1-10

17:10-17:55 適応熱産生におけるナルディライジンの役割

○西 英一郎

京都大学大学院医学研究科循環器内科学

【終了後懇親会】

平成24年9月5日 (水) 9:00-12:15

一般演題III

2-1

9:00-9:20 野外環境下のイネ・トランスクリプトームの統計モデリング

○永野 惇

京都大学・生態学研究センター

2-2

9:20-9:40 Has any cross point of thermo- and hygro- sensations?

OHong Luo

Global Science and Culture Publishing

2-3

9:40-10:00 ゼニガタアザラシの褐色脂肪組織による体温調節

〇櫻井裕太 1 、岡松優子 2 、角川雅俊 3 、小林万里 1,4 、斉藤昌之 5 、木村和弘 2

¹東京農大・院・生物産業、²北大・獣医、³おたる水族館、⁴NPO北の海の動物センター、⁵天使大・看護栄養

2-4

10:00-10:20 視索前野ニューロン活動の光操作による褐色脂肪交感神経活動の 調節

> ○中村佳子¹、日置寛之²、片岡直也¹、金子武嗣²、中村和弘¹ ¹京都大学生命科学系キャリアパス形成ユニット、²京都大学医学研 究科高次脳形態学

【10:20-10:30 休憩】

一般演題IV

2-5

10:30-10:50 社会的敗北ストレスによる高体温は延髄縫線核を介した褐色脂肪 熱産生が寄与する

○片岡直也、中村和弘

京都大学生命科学系キャリアパス形成ユニット

2-6

- 10:50-11:10 視床下部—延髄投射ニューロンの光刺激による褐色脂肪熱産生の 惹起
 - ○中村和弘¹、片岡直也¹、日置寬之²、金子武嗣²

¹京都大学生命科学系キャリアパス形成ユニット、²京都大学医学研究科高次脳形態学

温熱生理学レクチャーII

2-7

- 11:10-11:40 精神性発汗・血管収縮の体温調節における意義
 - ○岩瀬 敏

愛知医科大学生理学

2-8

- 11:40-12:10 発熱メカニズム研究の流れ
 - ○松村 潔

大阪工業大学・工学部・生命工学科

12:10-12:15 世話人挨拶(次年度開催についての確認)